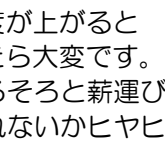
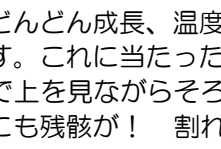
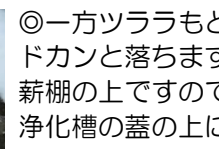
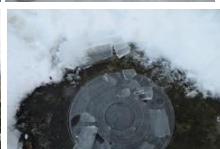
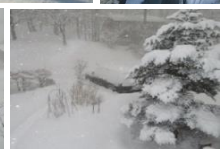
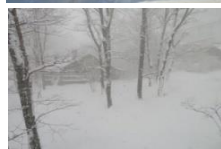




◎朝のルーティーンは、朝食後に1時間ほどかけての外での作業です。雪の降ってる時は完全武装で、夜の内に降り続けて車が埋まってる時も気合を入れて外へ出ます。寒い時は氷点下7~8℃、ほとんど氷点下が多いのです。 エントランスの雪かきをして郵便屋さんや宅配便のドライバーが玄関まで入れるようにします。新聞屋さんが来るのが4時頃、雪かき前で長靴の跡が点々と！ ご苦労さん！ 2日~3日連続で降られると折角掻いた場所が又埋まる・・・で両サイド50cmは超えてるかな？



◎2月は吹雪状態になることが多く、そして治まると車が埋まる。この繰り返しでした。何百台も雪に埋まり渋滞した車を掘り出した自衛隊の労力に比べたら楽なもんですが！ お陰様で普段の運動不足が少し解消です。

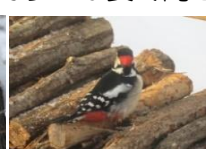


◎一方ツララもどんどん成長、温度が上がるとドカンと落ちます。これに当たったら大変です。薪棚の上ですので上を見ながらそろそろと薪運びです。浄化槽の蓋の上にも残骸が！ 割れないかヒヤヒヤ。

◎別荘地管理組合のイベント・・・『冬まつり』・・・ボランティアが集まり午後3時間ほどで雪灯籠を300個程作りました。バケツに雪を詰め込み、ひっくり返すと出来ます。真ん中にロウソクを立てる穴を掘ります。5年ほど前には土手に文字を作るなど手間を掛けましたがボランティアも年を取り縮小です。



◎2月に入ってからよく飛んできます。 焚き付け用に積んであるラックの小枝が穴だらけになってます。本来なら高い木の枯れ枝でコツコツやってるのですが、野生の本能が餌になる昆虫の幼虫が手軽に手に入る場所を見つけたようです。用心深いので高いところから徐々に降りてきます。 カメラ向けると気配を察知して直ぐ逃げます。 彼らが狙ってるのはこんな幼虫、冬の間は木の穴の中で過ごし夏には成虫に！ 多分カミキリだと思います。外からカンカンカンと嘴で穴をあけ中の幼虫を取り出すようです。この幼虫の写真は焚き付けにするために小枝を割ると出てきます。木の内部で木の繊維を餌にして生きているのでしょうか。どうやって内部の虫のいるところ判るのか？ 自然の能力の不思議さを感じてしまいます。この鳥はアカゲラで、この他にアオゲラ、クマガラなんていう種類がいます。アオゲラという一回り大きいキツツキも偶に見かけます。朝早く、姿は見えないがドラミングというカラカラカラ〜が良く聞こえます。多分それがアオゲラです。



◎殊のほか多い今年の雪。雪解けが始まるのは何時？ 来月は春の便りを書きたいと思います！